

傍聴席から

生まれて初めての議会傍聴に、少し緊張して谷田部支所へと向かった。エレベーターで上階に上がり、既に始まっている議場に入る人のためのチェックを受け、「傍聴人」の札をつけ、コンサート会場のような扉を開けた。

席から見下ろす議会の第一印象は、ミニチュアのようなかわいらしさだった。正面のすぐ左に市原市長、その対面にネットの代理人の背中が見える。

議員の一般質問に、市長や行政の担当者が答えていくのだが、発言者の言葉や表情、態度から、その人の人間性が生々しく浮き出てくるかのように感じられる。これが、つくば市の最高決定の場なのだ。

＜若林美智子＞

私達の代理人が誕生して第1回目の、記念すべき12月議会が始まった。市民ネットの仲間、初日から一斉質問、各委員会、本会議まで、なるべく全てを複数で傍聴するよう声をかけあった。これまでは、自分達が出した請願の行方を見守るための傍聴だったが、今回これだけ色々な委員会まで傍聴すること自体が、自分達の代理人を出し

た成果だと実感する。

傍聴するうち、色々なギモンが沸いてきた。(ギモンその1) 補正予算の中で、筑波給食センター民間委託の次の2年契約の予算が提案された。2年分で449万円のアップ。議員からは「センター化・民間委託化前後の経費比較の資料を出して欲しい」と要望があったが、当の補正予算を審議する文教福祉委員会に資料は出ず、十分検討されないまま可決となった。これでは十分審議されたいのではないのか? そもそも、その資料がすぐ出ないというのは、きちんと比較がされていないのでは?

(ギモンその2) 介護保険の補正予算について、議員より「つくばがいい所なので、これまで税金をつくばに納めてない人が、老後をつくばでと転入するために市の負担が大きいのでは?」と質問があり、「グループホーム認定を7箇所を抑えた」等の回答があった。しかし、私の周りでは、「老親を呼び寄せたが福祉が遅れており、帰ってしまった。」「軽度の障害で地域で暮らしたいのに、支えていく雰囲気がない。」「年寄りには冷たく暮らしにくい」という声を多く聞く。財政負担の問題はあるが、「歳をとっても障害があっても安心して暮らせるまちづくり」が大切ではないか?

＜宇野 信子＞

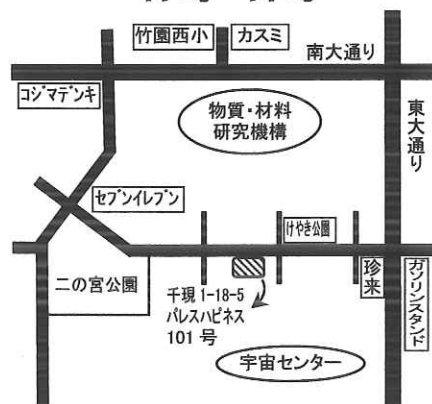
事務局からのお知らせ

第1回対話集会開催
1月30日(日)
13:30~15:30 アルス集会室

公約に掲げている「対話集会」を開きます。3月議会へ向けて多くの皆さんの意見を頂きたいと思えます。ぜひお誘いあわせてご参加くださいようお願いいたします。

新事務所 Open!

事務所開き 1/29 (土)
11時~14時



ネット会員募集中

一緒にまちづくりを考えてみませんか。興味のある方お気軽にご連絡ください。
Tel&Fax: 029-859-0264

*** 編集後記 ***
ネット通信第1号をお届けします。12月の議会終了後、翌月には「議会速報」を道行く市民の皆さんに手渡ししましたが、「通信」の方は遅くなってしまいました。お許しください。

つくば・市民ネットワーク通信 第1号

発行: つくば・市民ネットワーク 発行責任者: 阿部登代子 つくば市千現 1-18-5-101 Tel&Fax: 029-859-0264

E-mail: tsukubahotnet@ybb.ne.jp ホームページ: http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/

新年 あけましておめでとうございます。

つくば・市民ネットワークの活動も3年目を迎え、昨年11月には多くの市民のみなさん念願の「代理人」を議会に送り出すことができました。

これは、つくば市に政治への新しい参加システムができた瞬間でした。今後はこの「市民参加」の街づくりを、選挙公約に掲げた「情報公開」を基本に推めていきます。

もくじ

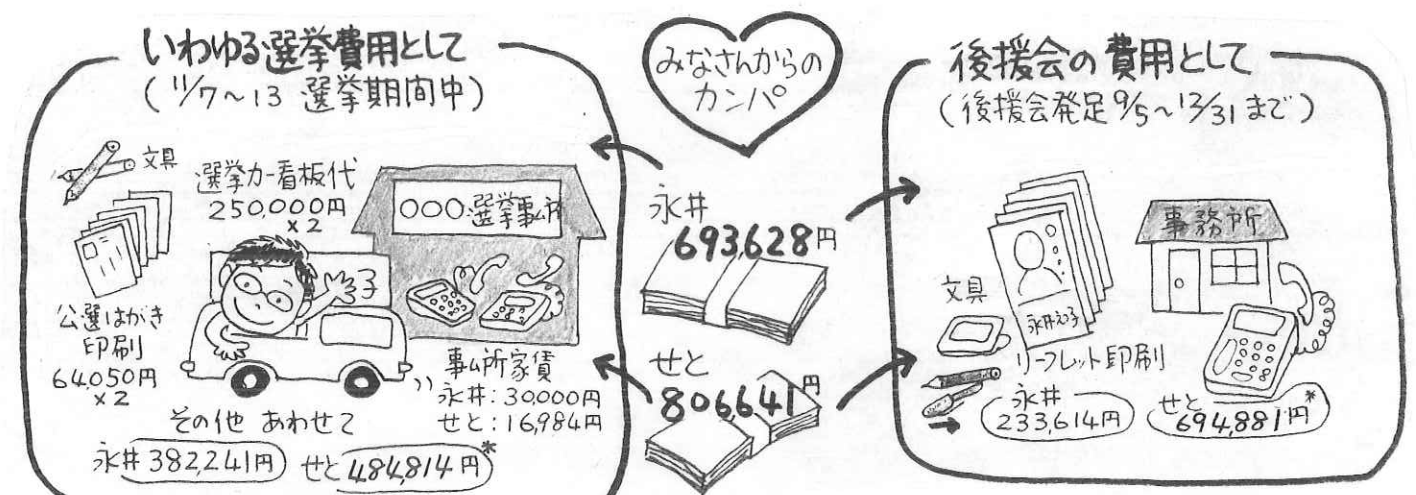
- 代理人のしくみ (1)
- 選挙資金報告 (2)
- せとゆみこの議会報告 (3)
- 永井えつ子の議会報告 (4)
- 12月議会傍聴記 (5)
- 対話集会のお知らせ (6)

代理人のしくみ(市民の声が政策になるまで)

みんなの意見を、直接議会で代弁する人を代理人(議員)といいます。今まで、私達は投票日にしか政治に関わることができませんでした。つくばのまちづくりを、私達市民の手ですめるために、私達がまとめた意見を代理人を通して議会に提案していきます。



選挙資金報告これだけの資金で選挙ができました.....



こんなの知らなかったー。
これも税金なのよネ。

このほか 公費で
ポスター印刷料、公選ハガキ郵送料
選挙カー借用料・燃料費・運転手賃金 がでした。

*カンパで足りなかった分は個人から借用しています。
*最終的な光熱費などの計算が未終了です。

他に、食事材料、看板材料、文具などのカンパをいただきました。宛名書き、うぐいす嬢、電話かけ、ポスター貼り、食事作り、看板作りなどなど(各事務所1日平均20人くらい)たくさんのボランティアで選挙を行いました。



せと ゆみこ
瀬戸 裕美子

文教福祉常任委員会に所属

安心安全な給食を！

今回、一般質問をした学校給食についての事前調査の結果、センター毎に納品される食材については、管理栄養士と納品業者に任されていて市では監査基準を持たず、もちろん監査作業はしていないということがわかりました。

遺伝子組み換えをしている食品と一口にいても、大豆やその加工品だけではなく、例えばコーンスターチや加工する時に使われるじゃが芋デンプン(片栗粉)や大豆たんぱくなど、知らない間に、私たちの身近になってきています。未来ある子どもたちの食べる給食には、遺伝子組み換えをしていない安心安全な食材を使ってほしいと願うのは母親として当然です。やはり行政からの監査制度があってほしいと思います。

現在つくば市立学校給食センター条例によってつくば市の緩やかな管理下にある学校給食ですが、昨年末に議会で可決された指定管理者に関する条例が施行された時に、行政の監査が届かなくなるおそれもあります。

12月定例市議会報告

一般質問項目

1. 市民参加・男女共同参画など
新市長の政治姿勢
2. 学校給食の食材や自校方式の導入

なにより大人の都合で給食の質を落とすことなく、食を通じて子ども達の感性を育てることも考えれば、是非、給食を作る場が見える自校式にこだわりたいというのが本当の気持ちです!!

「男女共同参画」実現のためには

男女共同参画についても、つくば市は“アップルプログラム”なるプロジェクトを組んでとりくんでいます。雇用の枠を広げて、男女の違いではなく、個人の能力を生かせる雇用の場にしたり、家庭の中でも男女共同参画の推進(家事・育児・介護が女性のみにかかってくるのではなく)など。でもこれがほんの一部の人にしか知られていないという現状もあり、市民の暮らしの中に浸透するところまでにはいっていません。

条例の制定やセンターを設けることで、こんなすぐれた制度があるんだよということをもっと身近に広げていくような工夫が必要です。

今回の議会で新市長が口にした約束。早い実現を願って、見ていきたいと思います。

一般質問項目

1. 遺伝子組み換え作物の作付け規制
2. 家庭ゴミ減量
3. TX駅前周辺開発

遺伝子組み換え作付けを規制すべき

多くの試験研究機関、民間研究所を抱えるつくば市では、既に遺伝子組み換え作物の野外実験が次々に行なわれています。この状況に対する「遺伝子組み換え作物の作付けに関する規制を設ける」請願は昨年3月議会で採択されましたが、採択されただけで現在つくば市の遺伝子組み換え作物に関する見解を示すものは何もない状況です。

そこで「遺伝子組み換え作物の作付けに関する規制」について、つくば市が独自の規制を設けることを重ねて要望しました。

不安感から、選べるなら遺伝子組み換えではない物を買いたいと思っている消費者は多く、明確な判断と対応に努めるのは、農業生産基地つくばの信頼確保の点からも重要です。

つくばで遺伝子組み換えの種子汚染が起こったときは、その被害は大変なものになると予想されますが、市長以下行政は、独自の規制を設けることに今ひとつ消極的な様子で残念です。

ながい えつこ
永井 悦子

環境経済常任委員会に所属

あきらめず規制条例制定に向けて、再度質問を重ねていきたいと考えています。

管路システムは廃止を

次に「ゴミの減量化について」質問した中で明らかになったことで、学園中心部に設置されている廃棄物運搬用パイプライン施設は21年を経て維持管理費用が年間1億2000万円(H14)もかかっており、今後、より多くの費用が必要となることを考えると、廃止も含めて、検討が急務であると提案しました。

駅前開発は市民参加で

最後に「TXつくば駅前周辺開発について」市民参加のまちづくりの実践を強く要望しましたが、地権者、事業者、利用する市民がひとつのテーブルで協議する場がなく、市民は、窓口となる行政に個々バラバラに「お願い」するこれまでのやり方と変わりがありません。手間はかかっても「話し合い」による市民参加の機会を保障していくことが何よりも大切です。

議会報告こぼれ話

一般質問への道

議会での一般質問は、前もって質問事項を提出するところからはじまります。そして質問当日に的外れなやりとりにならないように、事前に各担当部署の市職員から現状説明や情報提示をしてもらったり、揃えて欲しい資料や情報の確認をします。

公の立場である議員だから、担当者が丁寧に対応してくれるのは勿論のこと、調べたいことが集中的

に聞けるし、資料の請求も短時間に幅広くできることに改めて、「議員はすごい！」と感じ、同時に重い責任を痛感しました。

文教福祉委員会でのおはなし

「高齢者が転入してくる場合、介護保険税はそれまで住んでいた市町村で納めて、介護はつくばで受けるわけですね。こういう事例が増えてきたとしたら市の財政が圧迫されるのではないですか？」

議会報告こぼれ話

といった内容の質問がありました。

それを聞いて「若い人の発想だなあ」と思わず苦笑してしまったのですが…待てよ？もし私が将来転居した時に「このまちで介護保険税を納めていないので、介護を受けるなら実費を払ってください」と言われたとしたら…！

真剣に考えなければいけない問題ですね。

水道事業100億円事件・大人の解決策？

当事件の判決について議会は、昨年9月「市

民の税金で処理するのではなく、責任を明らかにし、関係者は責任を取るべきだ」と言う趣旨の問責決議を可決しました。

ところが、改選後初の今議会ではこの問題が取り上げられると、たいした議論にもならず“継続審議”になってしまいました。前回の怒りはどこへいってしまったのでしょうか？

悪いことをしたら謝って、責任を取る。そういう大人の行動をとらなければ、世の中には通用しないはずなのですが…。